※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅡ	3	２年	MY WAY English Communication Ⅱ

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

英語コミュニケーションⅡの授業は、英語コミュニケーションⅠの学びをさらに深めることを目指し、より発展的な内容に取り組みます。英語を通じて積極的にコミュニケーションを図る力を高め、「聞くこと」、「話すこと（やり取り、発表）」、「読むこと」、「書くこと」という４技能５領域の力をさらに伸ばす授業です。内容理解だけでなく、自分の意見や考えなどを加えてアウトプットできるような言語活動を多く行います。
・英語の語彙や文法については「実際のコミュニケーションでどのように使われるか」ということを意識して学習しましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	・職場や学校で話される基本的な内容をはっきりと発音されれば、概ね理解することができる。 ・ゆっくりはっきりとした発音であれば、テレビやラジオから流れるニュースを概ね理解することができる。	・身近なトピックに関する300語程度の記事やレポート等から、必要な情報を読み取ることができる。 ・短い物語を読み、あらすじや登場人物の心情を理解することができる。 ・社会的なテーマに関する短い説明を読み、概要や要点を理解することができる。 ・英語学習を目的として書かれた記事やレポートを読み、概要や要点を理解することができる。	・日常的な事柄や自分のこと、身の回りのことについて、簡単なやりとりをすることができる。 ・身近なトピックや興味・関心のあるテーマについて、前もって準備したうえで、会話に参加することができる。 ・身近なトピックについて、簡単な語や表現を用いて意見交換をすることができる。	・身近な事柄や出来事について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。 ・身近なトピックや興味・関心のあるテーマについて、簡単な説明をすることができる。 ・身近なトピックについて、理由とともに自分の意見を簡単に話すことができる。	・自分が必要とする事柄について、簡単な語句や表現を用いて、メモやメッセージなどを書くことができる。 ・身近なトピックについて、簡単な語句や表現や用いて、短い説明文を書くことができる。 ・聞いたり読んだりした内容について、簡単な語句や表現を用いて意見や感想を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な問題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
１学期	Lesson 1 Dances Around the World Lesson 2 Katsura Sunshine －Making the World Laugh	聞くこと	a: 相槌をうつタイミングや役割を理解し、話し手の主張を聞き取る力を身に付けている。 b: 話題の展開を把握し、聞き取る力を備えている。 c: 話題の要点を適切に把握し、聞き取ろうとしている。	定期考査
		読むこと	a: 時制、SVO（O=if / that / what 節）・形式主語・形式目的語に留意して、内容を読み取り理解している。 b: 日本文化、比較文化 / インタビュー・学校生活について書かれた内容を読み取り、概要や要点を理解・把握している。 c: 日本文化、比較文化 / インタビュー・学校生活について書かれた内容を読み取り、概要や要点を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	定期考査
		書くこと	a: 時制、SVO（O=if / that / what 節）・形式主語・形式目的語に関する事項を理解している。 b: 時制、SVO（O=if / that / what 節）・形式主語・形式目的語に関する事項を用いて簡潔に書いて伝える技能を身に付けている。 c: 日本文化、比較文化 / インタビュー・学校生活について、基本的な語句や文を用いて、読んで得られた情報などを参考にしながら、主体的に簡潔に書いて伝えようとしている。	定期考査
		話すこと （発表）	a: 相槌をうつタイミングや役割に注意しながらも、自らの考えを主張する力を身に付けている。 b: 話題を発展させる技術を備えている。 c: 身振りや図を示して分かりやすく説明しようとしている。	スピーキング テスト
	中間考査			
	Lesson 3 Living with Nature －Takita Asuka’s Journey Lesson 4 Sesame Street	聞くこと	a: 共生・平和 / 多様性・異文化について相手の理解・考え・意見をたずねる表現に注意しながら対話を聞き取る技能を身に付けている。 b: 共生・平和 / 多様性・異文化について対話の概要や要点、必要な情報を聞き取って捉えている。 c: 共生・平和 / 多様性・異文化について対話の概要や要点、必要な情報を主体的に聞き取って捉えようとしている。	定期考査
		読むこと	a: 完了形・SVOC（V=知覚動詞、使役動詞）に留意して内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 雑誌記事・講演の内容を読み取り、概要や要点を把握している。 c: 雑誌記事・講演の内容を主体的に読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	定期考査
		書くこと	a: 完了形・SVOC（V=知覚動詞、使役動詞）などを用いて、理由や根拠とともに書いて伝える技能を身に付けている。 b: 雑誌記事・講演の内容について読んで得られた情報を活用しながら、理由や根拠とともに書いて伝えている。 c: 雑誌記事・講演の内容について読んで得られた情報などを活用し、理由や根拠とともに主体的に書いて伝えようとしている。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 共生・平和 / 多様性・異文化について、相手の理解を確かめる表現などを用いて、円滑に意見を交換する技能を身に付けている。 日本の物語について、考えや意見をたずねる表現などを用いて、円滑に意見を交換する技能を身に付けている。 b: 共生・平和 / 多様性・異文化について基本的な語句や文を用いて情報や考えを話して伝え合っている。 c: 共生・平和 / 多様性・異文化について基本的な語句や文を用いて主体的に情報や考えを話して伝え合おうとしている。	スピーキング テスト
	期末考査			
２学期		聞くこと	a: 芸術・言語・異文化について主張する・理由を尋ねる表現の果たす役割に注意しながら対話を聞き取る技能を身に付けている。 b: 芸術・言語・異文化について対話の概要や要点、必要な情報を聞き取って捉えている。	定期考査

※令和４年度以降入学生用

			c: 芸術・言語・異文化について対話の概要や要点、必要な情報を主体的に聞き取って捉えようとしている。	
	Lesson 5 From Landmines to Herbs Lesson 6 Murals－The Power of Public Art	読むこと	a: 芸術・言語・異文化について関係詞、助動詞、不定詞の完了形に留意して内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 芸術・言語・異文化について理解を深めるために雑誌記事・レポートを読み取り、概要や要点を把握している。 c: 芸術・言語・異文化について理解を深めるために雑誌記事・レポートを主体的に読み取り概要や要点を把握しようとしている。	定期考査
		書くこと	a: 関係詞、助動詞、不定詞の完了形、描写する・理由を述べる表現に関する事項を理解している。 b: 異文化や芸術を理解する上で何が大切かについて説明・理由や根拠とともに書いて伝えている。 c: 異文化や芸術を理解する上で何が大切かについて説明・理由や根拠とともに主体的に書いて伝えようとしている。	定期考査
		話すこと （発表）	a: 言語の学習・芸術理解について関係詞、描写する・理由を述べる表現を用いて円滑に意見を交換する技能を身に付けている。 b: 異文化や芸術を理解する上で何が大切かについて基本的な語句や文を用いて情報や考えを発表して伝えている。 c: 異文化や芸術を理解する上で何が大切かについて情報や考えを主体的に発表して伝えようとしている。	スピーキングテスト
	中間考査			
	Lesson 7 “Englishes” in the World Lesson 8 Deepika Kurup－The Science Behind Clean Water	聞くこと	a: 言語・異文化 / 化学・環境について、助言する・ほめる表現の果たす役割に注意し、対話を聞き取る技能を身に付けている。 b: 言語・異文化 / 化学・環境について、対話の概要や要点・必要な情報を聞き取って捉えている。 c: 言語・異文化 / 化学・環境について対話の概要・要点・必要な情報を主体的に聞き取り、捉えようとしている。	定期考査
		読むこと	a: 言語・異文化 / 化学・環境について分詞構文、仮定法に留意して、内容を読み取る技能を身に付けている。 b: 言語・異文化 / 化学・環境について講演・インタビューの記事を読み取り、概要や要点を把握している。 c: 言語・異文化 / 化学・環境について講演・インタビューの記事を主体的に読み取り概要や要点を把握しようとしている。	定期考査
		書くこと	a: 分詞構文、仮定法、助言する・ほめる表現に関する事項を理解している。 b: 世界言語としての「英語」のあるべき姿・環境問題について自分の考えを書いて伝えている。 c: 世界言語としての「英語」のあるべき姿・環境問題について自分の考えを主体的に書いて伝えようとしている。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 言語・異文化 / 化学・環境について分詞構文、仮定法、助言する・ほめる表現などを用いて円滑に意見を交換する技能を身に付けている。 b: 言語・異文化 / 化学・環境について基本的な語句や文を用いて情報や考えを話して伝え合っている。 c: 言語・異文化 / 化学・環境について基本的な語句や文を用いて主体的に情報や考えを話して伝え合おうとしている。	スピーキングテスト
	期末考査			
3 学期	Lesson 9 The World’s Poorest President	聞くこと	a: 人物とその生き方 / デジタル社会の持つ問題点について、共感・反対する表現の果たす役割に注意しながら、対話を聞き取る技能を身に付けている。 b: 人物とその生き方 / デジタル社会の持つ問題点について対話の概要・要点・必要な情報を聞き取って捉えている。 c: 人物とその生き方 / デジタル社会の持つ問題点について対話の概要・要点・必要な情報を主体的に聞き取って捉えようとしている。	定期考査
		読むこと	a: 人物とその生き方 / デジタル社会の持つ問題点について同格を表す that 節、強調構文に留意して内容を読み取る技能を身に付けている。 b: ホセ・ムヒカさんの講演の内容を読み取り、概要・要点を把握している。 c: ホセ・ムヒカさんの講演の内容を主体的に読み取り概要・要点を把握しようとしている。	定期考査

※令和４年度以降入学生用

	Lesson 10 Living in an E-Society－The Pros and Cons	書くこと	a: 同格を表す that 節、強調構文、プレゼンテーションによく使われる定型表現・共感・反対する表現に関する事項を理解している。 b: 人物の生き方によって心を動かされた経験・デジタル社会の持つ問題点について内容を整理・意図を明確にしながら書いて伝えている。 c: 人物の生き方によって心を動かされた経験・デジタル社会の持つ問題点について内容を整理・意図を明確にしながら主体的に書いて伝えようとしている。	定期考査
		話すこと （発表）	a: 同格を表す that 節、強調構文、プレゼンテーションによく使われる定型表現・共感・反対する表現を用いて円滑に意見を交換する技能を身に付けている。 b: 人物とその生き方 / デジタル社会の持つ問題点について基本的な語句や文を用いて情報・考えを発表して伝えている。 c: 人物とその生き方 / デジタル社会の持つ問題点について基本的な語句や文を用いて主体的に情報・考えを発表して伝えようとしている。	スピーキングテスト
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度